



動物福祉と社会福祉の 融合：新しい社会貢献 モデル

行き場のない犬猫の保護活動と障害者や高齢者の就労支援を融合させる新しい事業モデルをご紹介します。この革新的なアプローチは、動物福祉と社会福祉という2つの重要な課題に同時に取り組むものです。保護された動物たちに新しい家族を見つけると同時に、就労が難しいとされる人々に対して働く機会を提供します。

この事業モデルは、地域社会全体を巻き込み、動物保護と障害者支援の両方に対して意識を高める取り組みとなります。カフェを中心とした施設運営により、利用者が自然と足を運びやすい環境を作り出し、動物との触れ合いを通じて新しい絆が生まれる可能性を高めます。

 **n by nasu Everypawdy**

保護犬猫活動の詳細

1

保護と健康管理

行き場のない犬猫を保護し、獣医による健康診断と必要な治療を行います。

2

トレーニングと社会化

動物たちが新しい家庭に適応できるよう人に鳴らすトレーニングを実施します。

3

新しい家族とのマッチング

動物の特性に合わせて適切な飼い主を見つけ、幸せな出会いをサポートします。

保護された動物たちは、専門家のケアの下で健康を取り戻し、新しい生活に向けた準備を進めます。獣医師による定期的な健康チェックや、愛玩動物飼養管理士による人馴れのためのトレーニングなど、きめ細かなサポート体制を整えています。また、保護動物たちの情報をウェブサイトやSNSで公開し、潜在的な飼い主とのマッチングを促進します。





就労継続支援事業所の役割

動物ケア

保護動物の餌やり、清掃、グルーミングなどの日常的なケアを担当します。

カフェ運営

接客や飲食物の提供など、保護猫カフェの運営に携わります。

施設管理

施設全体の清掃や維持管理を行い、快適な環境を整えます。

広報活動

SNSの更新やイベント準備など、施設の広報活動をサポートします。

就労継続支援事業所では、障害者や高齢者の方々が自分のペースで働きながら、様々なスキルを身につけることができます。動物とのふれあいを通じて心の癒しを得られるだけでなく、接客や施設管理など幅広い業務経験を積むことで、社会参加への自信を深めていきます。個々の能力や興味に合わせて業務を調整し、無理のない範囲でスキルアップを図れる環境を整えます。

カフェ運営と動物保護の融合

くつろぎの空間

来店者が保護動物とふれあいながら、美味しい飲食を楽しめる癒しの空間を提供します。

情報発信拠点

保護動物の情報や動物福祉に関する啓発活動を行い、来店者の意識向上を図ります。

収益源

カフェの売上やイベント収益が事業運営の資金となり、持続可能な活動を支えます。

カフェと保護施設を一体化させることで、来店者が自然と動物たちとふれあう機会を創出しています。季節に合わせたメニューや、保護動物をモチーフにしたスイーツなど、来店者を楽しませる工夫を凝らします。また、定期的に譲渡会や保護動物における啓発啓蒙などのイベントを開催し、動物保護への理解を深める機会を提供します。カフェでの体験を通じて、多くの方々が動物保護活動に興味を持ち、支援の輪が広がっていくと思われま

就労支援と動物ケアの相乗効果

1

心の癒し

動物とのふれあいが従業員のストレス軽減と精神的な安定をもたらします。

2

責任感の育成

動物の世話を通じて、仕事への責任感と達成感を養います。

3

コミュニケーション力向上

動物や来店者との交流を通じて、社会性とコミュニケーション能力が向上します。

動物ケアと就労支援を組み合わせることで、従業員の方々に多くの利点をもたらされます。動物たちとの触れ合いは心の安らぎをもたらし、毎日の仕事にやりがいを感じる原動力となっていきます。また、動物の世話を通じて培われる忍耐力や観察力は、他の業務にも活かされます。さらに、来店者との交流を重ねることで、コミュニケーション能力が自然と向上し、社会参加への自信につながっていきます。この相乗効果により、従業員の方々の成長と自己実現を支援します。



社会的価値とインパクト



動物福祉の向上

行き場のない動物たちに新しい家族との出会いをもたらします。



社会福祉の促進

障害者や高齢者の社会参加と自己実現を支援します。



地域活性化

地域社会全体の連携と意識向上に貢献します。

この事業モデルは、動物福祉と社会福祉の両面で大きな社会的価値を生み出します。保護された動物たちが新しい家族と出会い、幸せな生活を送れるようになるだけでなく、障害者や高齢者の方々が社会の中で活躍できる場を提供します。さらに、地域住民の方々が動物保護活動に参加したり、カフェを利用したりすることで、地域全体の連帯感が高まると考えられます。この取り組みを通じて、思いやりと共生の精神が地域社会に浸透し、より温かい社会づくりに貢献します。



資金調達と持続可能な運営

1 多様な収益源の確保

カフェの売上、グッズ販売、寄付金、助成金など、複数の収入源を組み合わせて安定的な運営を目指します。

2 クラウドファンディングの活用

新規プロジェクトや設備投資には、クラウドファンディングを活用して広く支援を募ります。

3 企業スポンサーシップの獲得

地域企業との連携を強化し、mutual benefitな関係構築を通じて安定的な支援を確保します。

持続可能な運営を実現するため、多角的な資金調達戦略を展開できればと考えています。カフェやグッズ販売からの収益に加え、定期的な寄付者の獲得や企業スポンサーシップの拡大に努めます。また、クラウドファンディングを活用した新規プロジェクトの立ち上げや、地域の企業と連携したチャリティイベントの開催など、創意工夫を凝らした資金調達活動を行います。これらの取り組みにより、安定的な運営基盤を確立し、長期的な視点で事業を発展させていきます。



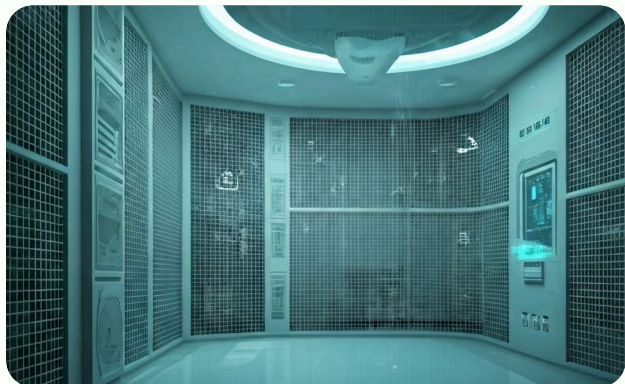


広報とプロモーション戦略

SNS活用	Instagram, Facebook, Twitterでの日常的な情報発信
イベント開催	譲渡会、チャリティーイベント、ワークショップなど
メディア露出	地元メディアや全国ネットワークへの積極的なアプローチ
口コミ促進	来店者や支援者による体験談の共有推進

効果的な広報活動を通じて、事業の認知度向上と支援の輪の拡大を図ります。SNSでは、現段階で既に保護動物たちの日常や成功事例を定期的に発信し、多くの方々の関心を集めています。また、季節ごとのイベントや体験プログラムを企画し、直接参加できる機会を提供していきます。メディア露出にも積極的で、地元テレビ局や新聞社との連携を強化し、活動の意義を広く伝えていければと考えています。さらに、支援者の方々による口コミ効果も大きな力となっており、温かいメッセージとともに活動の輪が広がっていくと思われます。

未来への展望と課題



技術革新の導入

AIやIoTを活用した動物ケアシステムの開発や、バーチャル譲渡会の実施など、最新技術の導入を検討しています。



多様性の推進

さらに多様な背景を持つ人々の参加を促し、インクルーシブな環境づくりを目指しています。



環境負荷の低減

省エネ設備の導入やリサイクル活動の強化など、環境に配慮した運営方法を模索しています。

この革新的な事業モデルは、さらなる発展と進化を目指しています。技術革新を積極的に取り入れ、より効率的で効果的な動物ケアと就労支援を実現することが今後の課題です。また、多様性を尊重し、あらゆる人々が参加できるインクルーシブな環境づくりにも注力していきます。同時に、環境負荷の低減にも取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。これらの課題に取り組むことで、動物福祉と社会福祉の融合という理念をさらに深化させ、より大きな社会的インパクトを生み出すことを目指しています。